



**AlphaTec™**

**AlphaTec™ 6500**

限定使用氣密性化学防護服

# 取扱説明書

1. 安全上の考慮事項	2	7.2 防護服の脱衣	5
1.1 取扱説明書で使用されている警告表示の定義	2	7.3 廃棄	5
1.2 防護服のラベルに使用されているピクトグラムの定義	2	8. 保管	5
2. 防護服の特徴	3	8.1 保管条件	5
3. 認証	3	8.2 保管期限	5
歐州EU型式認証	3	9. 保守	6
4. 適切な使用法	3	9.1 保守スケジュール	6
4.1 使用目的	3	9.2 ISO 17491-1に従った気密性試験	6
4.2 使用の制限	3	9.3 手袋の交換手順	8
4.3 使用温度	4	10. パススルー(オプション)	9
5. 使用前	4	11. サイズチャート	9
5.1 使用前検査	4	12. EU型式認証データ	9
5.2 装着方法	4	13. スペアパーツとアクセサリー	11
6. 使用中	5	14. 賠償責任情報	11
6.1 マノメーター／圧力計の点検手順	5	15. 装着方法図解	12
7. 使用後	5		
7.1 除染	5		

## 1. 安全上の考慮事項

この取扱説明書(IFU)は、AlphaTec™ 6500限定使用気密性化学防護服にのみ有効です。

- 本製品(防護服)は、本取扱説明書の内容に精通した販売元が指定する者のみが使用することができます。
- 本製品は、取扱説明書に指定された用途に限りに使用してください。
- 損傷のある又は不完全な防護服は使用しないでください。また、本製品を改造しないでください。
- 修理や保守には、AlphaTec™純正スペアパーツのみを使用してください。

### 1.1 取扱説明書で使用されている警告表示の定義

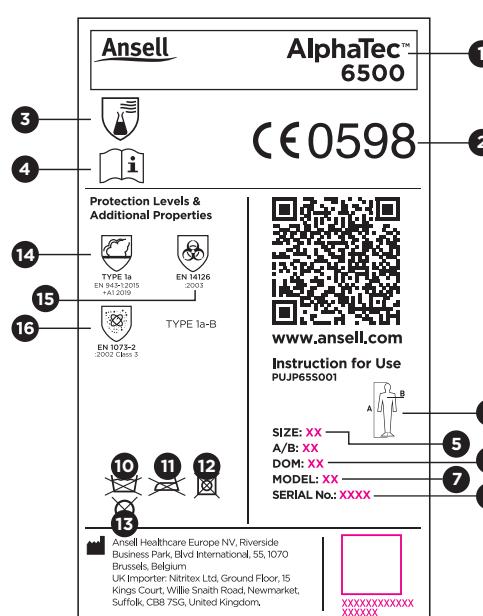
この取扱説明書では、使用者、本製品、環境の安全を脅かさないよう、特別な注意が必要な状況や行為を強調するために、以下の警告表示を使用しています。

**!警告** – 場合によっては、使用者が死亡又は健康上、重大な危害を被る可能性が極めて高いことを示します。

**!注意** – 場合によっては、使用者の身体、製品や環境への損害を与える可能性があることを示します。

**!お知らせ** – 本製品の使用方法に関する追加情報を示します。

重要:付属PPE(呼吸器、手袋、長靴)の安全な使用に関する詳細な説明については、メーカーの説明書を参照してください。AlphaTec™ 6500気密性化学防護服に付属する手袋と長靴については、これらのアイテムの取扱説明書がパッケージに同梱されています。



#### ラベル表示

- 防護服のメーカー/ブランド名
- CEマーキング: カテゴリー III 個人用保護具の認証。品質保証の審査・認証者:SGS Fimko Oy, Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland  
ノーティファイドボディ番号:0598 EU型式審査実施者:FORCE Certification A/S, Park Allé 345, DK-2605 Brøndby, Denmark. ノーティファイドボディ番号:0200
- 限定使用化学防護服
- 使用前に取扱説明書を読むこと
- サイズ
- 製造年月
- モデルの識別番号
- 防護服の管理番号
- サイズピクトグラムはボディサイズを示す
- 洗濯不可
- アイロン不可
- 乾燥機使用不可
- ドライクリーニング不可

#### 保護レベルと追加プロパティ

- 全身防護タイプ
- 生地はEN 14126に準拠し、感染物質に対するバリア性を試験済み
- この防護服は、粒子状放射性汚染物からの防護を目的にデザインされています

## 2. 防護服の特長

AlphaTec™ 6500は限定使用の気密性化学防護服です。

- ・陽圧式自給式呼吸装置(SCBA)及びフルフェイスマスク\*との併用を想定
- ・シングルスキン、つまりオーバーカバーが不要
- ・限定使用

AlphaTec™ 6500は以下の構造でご提供しています。

- ・カプセル型防護服／タイプ1a、防護服内にSCBAを装備して使用する設計
- ・この防護服には次の付属品が付属しています：
- ・一体型ソックス、あるいは一体型長靴
- ・防護服に付帯している腰ベルトは、必ず着用すること
- ・交換可能な手袋

オプションのパススルーもすべてのモデルで利用可能です(目次項目10を参照)

以下のアクセサリーはすべての防護服に付属しています：

- ・ファスナー用保守キット
- ・外付け手袋ロック・システム用六角工具と保持カフ・リング工具
- ・吸湿性インナー手袋
- ・AlphaTec™ AF3 曇り止めスプレー

\* 本製品は、Interspiro、Scott、Dräger、及びMSAといった主要ブランドのSCBAに対応

欧州のユーザーの場合、SCBAはEN 137の認証を受けること。

本製品はオーバーブーツ(ソックスタイプの場合)と安全ヘルメットを着用すること。

## 3. 欧州EU型式認証

AlphaTec™ 6500はCEマークを取得しており、個人用保護具に関するEU規則2016/425及び以下の欧州規格に基づくEU型式認証を受けています：

- ・EN 943-1: 2015+A1: 2019年液体及び気体の化学物質、エアロゾル、固体粒子に対する保護衣(タイプ1a)
- ・EN 14126:2003 タイプ1a～Bの感染性物質に対する保護
- ・EN 1073-2:2002粒子状放射性汚染物からの防護、クラス 3

AlphaTec™ 6500はEN943-2:2019規格に基づく試験を行っており、低温実用性能要件を除いて、同規格に適合しています。

AlphaTec™ 6500は以下のEU型式審査実施者により認証を受けています。

ノーティファイドボディ番号: 0200、FORCE Certification A/S, Park Allé 345, DK-2605 Brøndby, Denmark.

以下の認証機関により認定されたモジュール D に継続的に準拠します。

認証機関番号: 0598、SGS Fimko Oy, Takamotie 8, FI-00380 ヘルシンキ、フィンランド

## 4. 適切な使用法

### 4.1 使用目的

本製品は、ガス状、液体状、エアロゾル状及び固体状の化学物質から身を守ります。また、細菌、ウイルス、真菌などの感染性物質に対しても保護を提供します。

### 4.2 使用の制限

- ・高温及び直火を避けてください。
- ・本製品は、消火活動には使用できません。
- ・本製品は、 $\alpha$ 線、 $\beta$ 線、 $\gamma$ 線、X線などの放射線からの防護性能はありません。
- ・爆発の恐れのある環境は避けてください。

**!警告:** 使用後にAlphaTec™ 6500防護服が化学的あるいは生物学的に汚染されたり、物理的に損傷を受けた場合は必ず廃棄してください。本製品は、汚染や損傷がないことを確認できた場合に限り再使用してください。

### 低温環境での使用とバイザーの曇り

曇り止め剤であるAlphaTec™ AF3は、低温環境下で必ず使用しなければなりませんが、気候と気温に関係なく常に使用することが推奨されます。塗布する際は、曇りやミストへの耐性を向上させるため、バイザーの内側と外側に塗布してください。AlphaTec™ AF3スプレーは本防護具に付属しています。

AlphaTec™ AF3は、以下の手順でバイザーに塗布してください。

- ・AlphaTec™ AF3溶液を乾いた布にスプレーする
- ・本製品のバイザーの内側と外側の全面にまんべんなく塗布する
- ・本剤が均等に塗られるよう、バイザーを布で軽く拭く
- ・また、SCBAフェイスピースのバイザーの外側にもAlphaTec™ AF3を塗布することを推奨

AlphaTec™AF3を塗布した布は、バイザーの下にあるポケットに収納でき、曇りやミストが発生した際にバイザー内を拭くことができます。

#### 4.3 使用温度

-5°C ~ +65°C

**!注意:**AlphaTec™ 6500は非通気性素材であるため、使用中に装着者の体温が上昇する可能性があります。そのため、熱ストレスのリスクを軽減するように作業量を計画する必要があります。  
高温あるいは低温環境での短期間の使用は可能ですが、使用者の熱ストレスや火傷及び凍傷に関して厳重に注意する必要があります。

**!お知らせ:**本製品並びに構成部品そのものの検証を、使用者自身が使用現場内で行うことは避けてください。

### 5. 使用前

#### 5.1 使用前検査

取扱説明書を確認し、本製品の保護機能に影響を与えるような損傷がないか点検してください。

使用前点検は以下の手順で行ってください。

- ・内側と外側の両方を目視で点検する
- ・素材、縫い目、バイザー、長靴(一体化の場合)、内手袋と外手袋の表面の破損を調べる
- ・ファスナーとファスナーの金具の動作を確認する
- ・排気弁、及びパススルー(付属している場合)の動作を確認し、しっかりと取り付けられ、損傷していないことを確認する

**!警告:**損傷や故障が見つかった場合は、本製品を使用しないでください。

#### 低温環境での使用

- ・AlphaTec™ AF3防曇処理を施すこと(目次項目4.2参照)
- ・低温環境に適した肌着(インナー)を着用し、寒冷地や低温の化学物質に接触する恐れがある場合は、防寒下着を着用すること

#### 5.2 装着方法

(図解は12ページに掲載)

- ・安全確保と適切な気密性保持のため、本製品の着脱を支援する補助者が必要です。
- ・装着場所は、汚染物質あるいは一般的なゴミや異物のない、清潔な場所を選んでください。屋外での装着などの必要に応じて、保護シートなどを敷いてください。必要に応じて、装着者は長靴、装身具、及び銳利物を外してください。

装着は以下の手順で補助者と一緒に行ってください。

- ・オプションのパススルーが付属している場合、カップリングについて、使用されるSCBAとの適合性を確認してから、防護服を腰の高さまで着用してから接続する
- ・装着者はメーカーの取扱説明書に従ってSCBAセットを着用し、面体は首のストラップからぶら下げたままにする
- ・無線通信機器を使用する場合は、装着者が本製品を着用する前に動作確認を行うこと
- ・装着者は補助を受けながら本製品に両足を入れ、腰の高さまで引き上げ、足がソックスあるいは一体型の長靴の中に適切な位置に収まるようにする。ソックスは化学物質保護用ウェリントンブーツ(別売)の内側に履くよう設計されており、オーバーフラップをウェリントンブーツの履き口の上に被せるようになっている
- ・必要な着用前点検を実施し、SCBAの電源を入れ、メーカーの取扱説明書に従って面体を着用する
- ・装着者は両腕を胸の前で組み、その間に補助者が本製品をSCBAと装着者の頭の上に持ち上げる
- ・補助者は本製品／バイザーを快適に着用できるよう調整し、本製品のファスナーを慎重かつ確実に閉める。その際、ファスナーカバーがファスナーを完全に覆うよう、マジックテープで適切な位置に固定する
- ・装着者は両腕を袖に通して、両手を一体型の手袋の中に入れる
- ・両手でファスナーをまっすぐ、慎重に引き上げる。その際無理な力をかけないようにする。引っかかった場合は、軽く引き戻し、もう一度やり直す。ファスナーが完全に閉じていることを確認する

**!警告:**ファスナーは破損すると重大な傷病や死に至る可能性があるため、慎重に取り扱ってください。

## 6. 使用中

介入時は、以下に留意してください。

- ・化学物質へのばく露を最小限に抑えること
- ・できる限り化学物質に直接触れないようにすること

### 6.1 マノメーター／圧力計の点検手順

マノメーター／圧力計の点検は、手袋から手を出してから、以下の手順で行ってください。

- ・左手で右の手袋をつかむ
- ・右手を本製品の中に入れる
- ・マノメーター／無線／その他を点検する
- ・右手を再び手袋の中に戻す
- ・左手を本製品の中に入れる際、代わりに右手で左の手袋をつかむ

## 7. 使用後

### 7.1 除染

危険な環境で活動した後は、装着者を汚染から守るため、本製品を脱衣前に除染する必要があります。

- ・除染には必ず補助者が付き添うこと
- ・補助者も適切な防護服を着用し、場合によっては呼吸用保護具を装着すること
- ・洗剤と十分な水量で本製品をすすぐ

### 7.2 防護服の脱衣

- ・ファスナーカバーを開き、ファスナーをゆっくり慎重に開く。ファスナーのスライダーが動かないよう、開いている箇所の防護服の生地をつかんでおく。重大な破損につながる可能性があるため、無理に力をかけて開かないようにすること。
- ・袖から腕を抜き、バイザーを内側から持つ
- ・防護服を慎重に開く
- ・防護服を脱衣する

#### !警告:

AlphaTec<sup>TM</sup> 6500防護服が化学的に汚染されていたり、物理的に破損している場合は、必ず廃棄してください。本防護服は、汚染や破損がないことを確認できた場合に限り、使用してください。

### 7.3 廃棄

地域の規制に従って脱衣後の衣類を廃棄してください。汚染している場合は、汚染物質に従った対処をしてください。

## 8. 保管

本製品は、一般的な防護具の保管方法に従って保管することができます。本製品は納品時の収納箱に入れ、乾燥した清潔な状態で保管し、ファスナーを少し開けて(約10cm)バイザーに傷がつかないように折りたたみ、十分にワックスをかけることをお勧めします。

### 8.1 保管条件

- ・乾燥した場所で、湿度70%以下
- ・室温:5～30°C
- ・直射日光を避けること
- ・オゾン発生源(電気エンジン、蛍光灯、エアコンなど)を避けること

!注意:車内や容器の上に本製品を保管する場合は、接触面との経常的な摩擦による摩耗が発生しないようご注意ください。

### 8.2 保管期限

適切に保管され、本取扱説明書に従った保守管理を行われる場合、AlphaTec<sup>TM</sup> 6500の保存可能期間は10年です。

## 9. 保守

すべての保守作業は、習熟したサービスエンジニア又は技術者によって行われ、各防護服に付属されている記録カードに記録しなければなりません。以下に指定する保守期間は、防護服アンサンブルのみを対象としています。

**!警告:**本防護服は、汚染や損傷がないことが確認できた場合に限り再使用してください。上記以外の方は防護服の修理は避けてください。

同梱の容器に再度保管する前に、防護服はISO 17491-1内圧試験に照らして検査し、漏れがないか確認してください(目次項目9.2)。

### 9.1 保守スケジュール

実行すべきタスク	使用前	使用後	製造から5年	製造から7.5年
除染 <sup>1</sup>		X		
気密性／圧力試験 <sup>2</sup>		X	X	X
バルブのダイアフラムを交換する			X	
装着者の目視検査 <sup>3</sup>	X			

<sup>1</sup>除染に関するアドバイスについては、目次項目7.1を参照のこと。

<sup>2</sup>内圧試験 ISO 17491-1に関する詳細は、目次項目9.2を参照のこと。

<sup>3</sup>目視検査に関する情報は目次項目5.1を参照のこと。

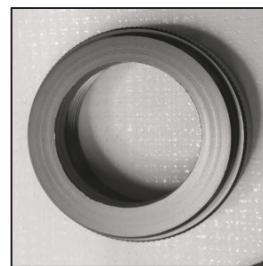
### 9.2 ISO 17491-1に従った気密性試験

本製品使用後に汚染が確認されない場合においても、目視検査を実施して損傷がないことを確認する必要があります。また、ISO 17491-1に従って漏れが生じないことを検査する必要があります。

AlphaTec™防護服の試験装置はAlphaTec™試験装置がございますが、以下のようなアダプタにつきLabTechテスターのよう、その他の機器もお使いいただけます。



呼気シールプラグ(2個)



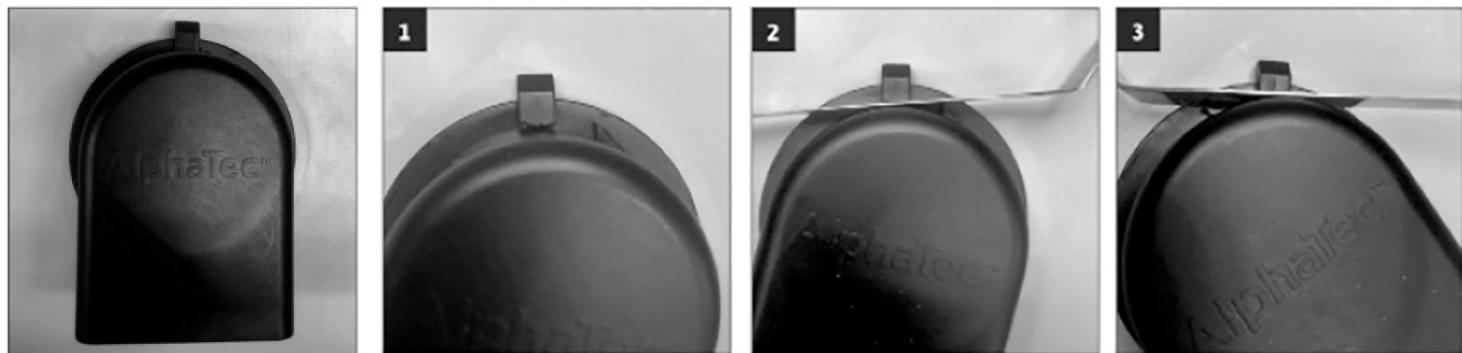
リテイニングカラー(2個)



膨張検知プラグ(1個)

## 9.2 (続き) ISO 17491-1に従った気密性試験

### AlphaTec™試験装置を使用した手順



以下の手順に従って、AlphaTec™ 排気弁からカバーを取り外してください。本製品を平らな場所に置き、フードの裏側にある排気弁の位置を確認します。

**[!注意]** 排気弁カバーを外す際、排気弁が緩んで本体から外れることを防ぐため、排気弁保持カラーを持たないよう注意してください。

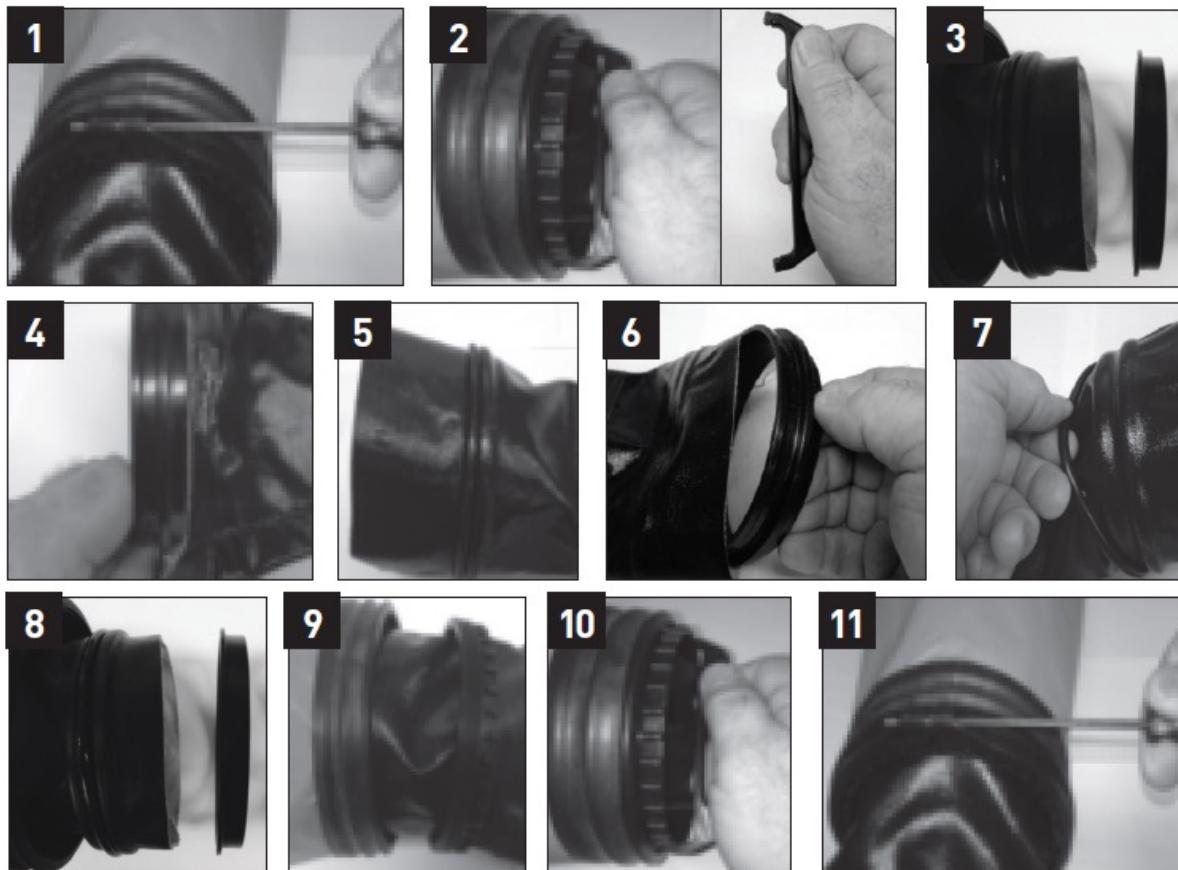
1. アウター弁カバーを取り外すには、まずカバーを時計回りに回転させ、カバーラグが排気弁のボディストップを6～8 mm通過するようにする
2. カバーラグと排気弁のボディストップの間に薄いブレード（ナイフなどの鋭利物は使用しないでください）を慎重に挿入する。**[!注意]** 排気弁を損傷する可能性があるため、ラグと排気弁ボディストップを引き離さないよう注意する
3. 排気弁カバーをブレードの上で反時計回りにゆっくりと回し、カバーラグが排気弁のボディストップを通過するようにし、排気弁カバーが弁本体から外れるまで繰り返す
4. 排気弁番号1は、シールプラグを挿入し、リテイニングカラー（1個）をシールプラグに付け、時計回りに回して締める
5. 排気弁番号2は、中央のラグを上方に引き上げてダイアフラムを取り外す
6. リテイニングカラー（1個）を黒アダプターに配置する
7. 黒のアダプターをグレーの試験アダプターにねじ込み、しっかりと接続する
8. 黒のアダプターを排気弁に押し込み、リテイニングカラーを締める
9. ファスナーを閉じる
10. 試験アダプターのニップルで圧力計を接続する
11. エアピストルを使って防護服を1750 Pa/17.5 mbarまで膨らませる
12. アダプターのバルブを使用して、試験前の膨張圧である1700Pa/17.0mbarまで下げ、圧力を10分間維持し、必要に応じて空気を加える
13. 圧力を試験圧力の1650 Pa/16.5 mbarまで調整し、タイマーをセットしてスタートさせ、6分間待つ**[!お知らせ]** 試験中は本製品に触れないこと
14. 6分経過後の圧力を確認し、圧力が1350 Pa/13.5 mbar以上であれば、本製品は試験に合格していることになるため、最終的な圧力を「試験記録ラベル」に記録
15. 圧力試験終了後、試験アダプターから圧力計を取り外し、排気弁から試験アダプターとシーリングングプラグを取り外す
16. ダイアフラムを元通りに取り付ける前に、ダイアフラムにはこりや汚れがないことを確認し、ダイアグラム中心を弁本体の中のリテイニングピンの上に押し込む
17. 排気弁カバーの再取り付けの際は、ネジ山を超えないように注意しながら、排気弁カバーを時計回りに弁本体にねじ込み、カバーのラグと排気弁のボディストップ部分が3回「カチッ」と音がするまでカバーを回す

**!警告:** 防護服がこの試験に合格しなかった場合には、使用を中止しなければなりません。

### 9.3 手袋の交換手順および外付けロックリンク

使用中に手袋を破損あるいは汚染した場合、交換することができますが、その場合、習熟したサービスエンジニア又は技術者に限る交換を行うこと。未認証の手袋への交換は避け、手袋の交換後は必ず、目次項目9.2に従った気密性試験を再度行うこと。

すべての交換とその後の試験内容は、各防護服に付属の記録カードに記録すること



1. 付属の六角工具を使ってアウタークランプを外す
2. クランプを取り外したら、付属の工具を使用してリテイニングカラーのネジを緩める(\*注釈1)
3. スリップワッシャーを取り外す
4. 手袋のサポートカラーを取り外す
5. 手袋からオーリングを取り外す
6. 手袋のサポートカラーを新しい手袋に挿入し、手袋がカラーに沿って伸びるように、カラーを手袋に押し込む[!注意]このカラーは、MICROCHEMの名前が手袋の指側になるように挿入
7. 手袋の上にオーリングを置き、サポートカラーの窪みの部分にはめ込み、手袋を袖口に入れ、左右それぞれの手の手袋をはめる。その際、手袋の後部が防護服の袖の裏の縫い目の中心にあることを確認する
8. スリップカラーを手袋の上に装着し、幅広のリムをサポートカラーと手袋に当てながら、サポートカラーまで押し上げる
9. 手袋のリテイニングカラーを手袋の上にスライドさせる
10. リテイニングカラーを時計回りに、きつくなるまでカフにねじ込み、付属の工具を使ってリテイニングカラーが閉まっていることを確認する
11. 締め付けねじが手袋の後部にある状態で、カフとリテイニングカラーを囲む安全リテイニングクランプの位置を確認し、クランプとラグそれぞれの位置が適切かを確認する(クランプはカフの端、ラグはリテイニングカラーのグリップの間)。付属の工具を使用し、ネジ下のラグがグリップの間に2mmの隙間ができるまでネジを締める

(\*注釈1)除染後もリテイニングカラーには汚染物質が残留している可能性があるため、リテイニングカラーを外す際は手袋を着用すること

## 10. パススルー(オプション)

パススルー防護服オプションは、防護服の外側からどの角度からでも接続でき、防護服内のアンビリカルホースを使って、SCBAの補助エアライン接続部に接続できます。パススルーの最大作動圧は10 barです。



外部接続

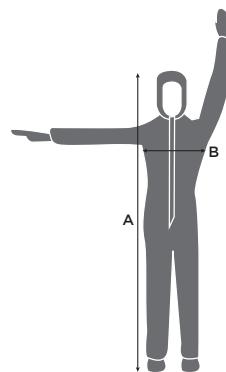
SCBAに接続するための  
内部アンビリカルホース

SCBAへのホース接続

### !警告:

- ・パススルーは、汚染物除去のために、SCBAの制限時間を超えて呼吸可能な空気を供給することに限り使用し、決して単独で使用しないでください。
- ・ご使用の前に、お使いのSCBAシステムと本製品のパススルーとの適合性について、販売元又はお使いの呼吸器メーカーにご確認ください。

## 11. サイズチャート



身体寸法 (cm)		
防護服のサイズ	身長 (A)	胸囲 (B)
S	164 - 170	84 - 92
M	170 - 176	92 - 100
L	176 - 182	100 - 108
XL	182 - 188	108 - 116
2XL	188 - 194	116 - 124
3XL	194 - 200	124 - 132

長靴から防護服までのサイズ目安			
防護服のサイズ	長靴 (イギリス)	長靴 (欧州)	長靴 (米国)
SからM	9	43	9.5
L	10 1/2	45	11
XL	11 1/2	46.5	12
2XLから3XL	13	48	13.5

手袋から防護服までのサイズ目安 (GA2セット)		
防護服のサイズ	02-100 手袋	38-560 手袋
SからXL	10	10
2XLから3XL	11	11

## 12. EU型式認証データ

3ページの「欧州EU型式認証」を参照ください。防護服は、EN 1073-2:2002に基づく粒子状放射性汚染物からの防護においてクラス3(最高)を達成し、公称防護係数は500以上です。また、下記の試験方法およびクラス要件は、EN 14325:2018及びEN 14126:2003に基づきます。

すべての化学薬品試験は、実際の作業環境下ではなく、実験室条件下で防護服素材の見本片に対して実施されたことに留意する必要があります。実験室条件下で得られた結果が実際の使用状況に適用可能であるかは、ユーザーが判断する必要があります。掲載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

防護服の素材と縫い目 - メカニカルデータ			
特性	試験方法	クラス要件	クラス
摩擦抵抗	EN 14325:2018, EN 530	>2,000摩擦回数	6 / 6
屈曲亀裂抵抗	EN 14325:2018, EN ISO 7854:B	>1,250サイクル	2 / 6
屈曲亀裂 -30°C	EN 14325:2018, EN ISO 7854:B	>200サイクル	2 / 6
引き裂き抵抗	EN ISO 9073-4	> 100 N	5 / 6
引っ張り強度	EN ISO 13934-1	> 250 N	4 / 6
突き刺し抵抗	EN 863	> 10 N	2 / 6
耐燃性	EN 14325:2018, EN 13274-4 方法 3	炎の中で1秒、その後リーキタイト	2 / 3
縫い目の強度	EN ISO 13935-2	> 500 N	6 / 6
ファスナーの強度	EN 943-1:2015, EN ISO 13935-2	> 500 N	6 / 6

透過破過時間の分類						
クラス	1	2	3	4	5	6
透過時間	>10分以上	>30分	>1時間	>2時間	>4時間	>8時間

防護服の素材と縫い目 - 化学物質の耐浸透性 - クラスの性能				
化学物質	試験方法	防護服の素材	縫い目	バイザーの縫い目
アセトン	ISO 6529:2013	6 / 6	6 / 6	6 / 6
アセトニトリル		6 / 6	6 / 6	6 / 6
無水アンモニア(気体)		6 / 6	6 / 6	6 / 6
二硫化炭素		6 / 6	6 / 6	6 / 6
塩素(気体)		6 / 6	6 / 6	6 / 6
ジクロロメタン		6 / 6	6 / 6	4 / 6
ジエチルアミン		6 / 6	6 / 6	6 / 6
酢酸エチル		6 / 6	6 / 6	6 / 6
ヘキサン		6 / 6	6 / 6	6 / 6
塩化水素(気体)		6 / 6	6 / 6	6 / 6
メタノール		6 / 6	6 / 6	6 / 6
水酸化ナトリウム 40%		6 / 6	6 / 6	6 / 6
硫酸 96%		6 / 6	6 / 6	5 / 6
テトラヒドロフラン		6 / 6	6 / 6	6 / 6
トルエン		6 / 6	6 / 6	6 / 6

防護服の部位 - 化学物質による耐透過性 - クラスの性能					
化学物質	化学物質	バイザー	ニトリルゴム 長靴	ファスナー	手袋、AlphaTec™ 02-100 と AlphaTec™ 38-560 の組み合わせ
アセトン	ISO 6529:2013	6 / 6	5 / 6	6 / 6	6 / 6
アセトニトリル		6 / 6	5 / 6	6 / 6	6 / 6
無水アンモニア(気体)		6 / 6	6 / 6	5 / 6	6 / 6
二硫化炭素		6 / 6	6 / 6	4 / 6	6 / 6
塩素(気体)		6 / 6	6 / 6	6 / 6	6 / 6
ジクロロメタン		4 / 6	3 / 6	2 / 6	6 / 6
ジエチルアミン		6 / 6	6 / 6	6 / 6	6 / 6
酢酸エチル		6 / 6	6 / 6	6 / 6	6 / 6
ヘキサン		6 / 6	6 / 6	6 / 6	6 / 6
塩化水素(気体)		6 / 6	6 / 6	6 / 6	5 / 6
メタノール		6 / 6	6 / 6	5 / 6	6 / 6
水酸化ナトリウム 40%		6 / 6	6 / 6	6 / 6	6 / 6
硫酸 96%		5 / 6	6 / 6	6 / 6	6 / 6
テトラヒドロフラン		6 / 6	5 / 6	2 / 6	6 / 6
トルエン		6 / 6	6 / 6	4 / 6	6 / 6

感染性物質の透過に対する耐性 - クラスの性能	
EN 14126(感染性物質)に従った試験と分類	防護服の素材
合成血液(ISO 16603:2004)	6 / 6
Phi-X174 バクテリオファージ(ISO 16604:2004)	6 / 6
生物学的に汚染されたエアロゾルによる浸透、黄色ブドウ球菌ATCC 6538を使用 (ISO/DIS 22611:2003)	3 / 3
枯草菌を用いた乾燥微生物浸透法(ISO 22612:2005)	3 / 3
黄色ブドウ球菌( <i>Staphylococcus aureus</i> ATCC 29213)を用いた湿潤細菌浸透性(EN ISO 22610)	6 / 6

**13. スペアパーツ**

- |                    |                                    |
|--------------------|------------------------------------|
| AC01-P-00-036-10   | - GA2 手袋セット 10                     |
| AC01-P-00-036-11   | - GA2 手袋セット 11                     |
| AR-SR-EXVLV-MEM-AT | - 排気弁ダイアフラム                        |
| AC01-P-00-061-00   | - 排気弁アダプター - ユニバーサル - すべての圧力試験キット用 |
| AC01-P-00-062-00   | - 排気弁アダプター - AlphaTec™圧力試験キット用     |
| AR-SR-PTK-ENCAP    | - AlphaTec™圧力試験キット                 |

**注意!****14. 賠償責任情報**

本製品のメーカーは、本製品パッケージに明記されていないすべての保証を否認し、アンセル製品の不適切な使用について責任を負いません。

## 15. 装着方法(再掲)および図解:図1から5

装着は以下の手順で補助者と一緒に行ってください。

- オプションのパススルーが付属している場合、カップリングについて、使用されるSCBAとの適合性を確認してから、防護服を腰の高さまで着用してから接続する
- 装着者はメーカーの取扱説明書に従ってSCBAセットを着用し、面体は首のストラップからぶら下げたままにする(図1)
- 無線通信機器を使用する場合は、装着者が本製品を着用する前に動作確認を行うこと
- 装着者は補助を受けながら本製品に両足を入れ、腰の高さまで引き上げ、足がソックスあるいは一体型の長靴の中に適切な位置に収まるようにする。ソックスは化学物質保護用ウェリントンブーツ(別売)の内側に履くよう設計されており、オーバーフラップをウェリントンブーツの履き口の上に被せるようになっている(図2~5)

!警告:ファスナーは破損すると重大な傷病や死に至る可能性があるため、慎重に取り扱ってください。



## 15. 装着方法(再掲)および図解:図6から10

- 必要な着用前点検を実施し、SCBAの電源を入れ、メーカーの取扱説明書に従って面体を着用する(図6)
- 装着者は両腕を胸の前で組み、その間に補助者が本製品をSCBAと装着者の頭の上に持ち上げる(図7~8)
- 補助者は本製品／バイザーを快適に着用できるよう調整し、本製品のファスナーを慎重かつ確実に閉める。その際、ファスナーカバーがファスナーを完全に覆うよう、マジックテープで適切な位置に固定する(図9)
- 装着者は両腕を袖に通して、両手を一体型の手袋の中に入れる(図10)
- 両手でファスナーをまっすぐ、慎重に引き上げる。その際無理な力をかけないようにする。引っかかった場合は、軽く引き戻し、もう一度やり直す。ファスナーが完全に閉じていることを確認する。

!警告:ファスナーは破損すると重大な傷病や死に至る可能性があるため、慎重に取り扱ってください。

**Fig 6****Fig 7****Fig 8****Fig 9****Fig 10**

**Version 26.02.25**

PUJP65S001

**株式会社 アンセル・ヘルスケア・ジャパン**  
〒106-0032 東京都六本木3丁目4番31号アンセルオフィス  
代表電話：(03)5549-8151  
FAX：(03)5549-3152

アンセル、® および™ は、アンセルまたはその関連会社が所有する商標です。  
© 2025 Ansell Limited. All Rights Reserved.

